

もしもし

vol.
113
2026
Spring

Feature
特集

整形外科
(手外科)



contents



Feature

手の専門家だからこそできる診療「手外科」

もしもしINFORMATION

地域のお知らせ便

専門チームが早期支援「リハビリテーション科」

なるほど!おくすりエトセトラ

がっちり連携 連携医療機関のご紹介



手の専門家だからこそで きる治療とは？

NTT東日本 関東病院の 手外科診療の 特徴を紹介



整形外科 主任医長 / 森崎 裕

整形外科 医長 / 高本 康史

手は複雑で繊細な構造をもつ特殊な器官です。当院では多様な手の疾患に対する治療に積極的に取り組んでいます。

手外科ってどんな診療をしているの？

手に特化した整形外科の専門分野

体の中で最も緻密な運動器である手の治療は、高い専門知識と技術が必要不可欠。骨折などの外傷、腱や靭帯の問題、関節症などの変性疾患、腱鞘炎、神経に起因するしびれなどに対し、適切な治療や手術で、症状の軽減や機能改善を期待できる可能性があります(ただし効果には個人差があり、再発や合併症が生じることがあります)。

当院の手外科分野では以下の病気や外傷をはじめ

さまざまな手に関する診察・治療を行っています



手のしびれ

● 手根管症候群

親指・人差し指・中指のしびれが特徴で、握力や細かい作業能力が低下することも。高齢者に多く見られます。

● 肘部管症候群

小指側のしびれが特徴。肘の内側で神経が慢性的に圧迫されることで発症し、若い世代にも見られます。

治療法と手術について

症状や病態により、保存治療や手術で改善を期待できる場合があります。手術の場合、当院では局所もしくは伝達麻酔による日帰り手術で対応できることが多いです。関節鏡を用いた低侵襲手術も行っています。



骨折

● とうこつえん いたん 橈骨遠位端骨折

転倒して手をついた時に起こりやすい手首の骨折で、特に骨粗しょう症の症状がある女性に多く見られます。適応のある症例で手術を行い、リハビリも併用して早期の機能回復を目指します。

● 手指骨折

スポーツをする若者から高齢者まで幅広い世代で発症します。長期の外固定により指の拘縮など二次障害を引き起こす可能性も。適応がある場合は手術で骨折部を固定し、症状に応じて段階的にリハビリも進めながら回復を目指します。(治療経過は個人差があり、変更されることがあります)



手の変形

● 母指CM関節症

親指の付け根にあるCM関節が変形し、痛みや腫れなどが生じます。加齢や手の使いすぎも原因のひとつです。

● ヘバーデン/ブシャール結節

指の関節の軟骨が減り、関節の変形や腫れが生じて、痛みや変形で日常生活の動作に支障をきたすことも。

治療法と手術について

テーピング、薬物療法、ステロイド注射、手術(関節形成術・固定術や人工関節置換術)など治療法は多岐にわたります。関節の変形が進み、日常生活に支障をきたしている場合は、手術も選択肢のひとつです。手の使い方は個人差が大きいため、患者さん一人ひとりの病状や生活スタイルに応じた適切な治療法を、相談しながら決定します。



一般的な手の疾患

● ばね指

更年期以降や妊娠前後の女性に多く、指の曲げ伸ばしで引っかかる感覚があります。ストレッチや注射などの保存療法や手術を個別に検討します。基本的な手術ですが、専門的な知識と経験を有する医師による手術が重要です。

● デュピュイトラン拘縮

手のひらにしこりや凸凹ができ、指が徐々に伸びなくなる良性疾患。高齢男性に多い傾向があります。手術を要する場合は、専門知識及び技術を要するため手外科専門医のもとでの治療が適切です。



良性軟部腫瘍

関節付近にできるゼリー状の物質が詰まった腫瘍「ガングリオン」など、手にできる腫瘍の多くは良性です。無症状であれば、経過観察となることもありますが、増大や痛み、しびれなどの症状がみられる際には受診をご検討ください。複雑な構造である手にできた腫瘍は、手術が必要な場合は、専門医による手術が望ましいと考えられます。



Morizaki Yutaka
森崎 裕

整形外科 主任医長

Takamoto Koji
高本 康史

整形外科 医長

Profile

2002年東京大学医学部卒業。同大学医学部附属病院、茨城県立中央病院、さいたま赤十字病院、名戸ヶ谷病院、米国Mayo Clinicなどでの勤務を経て、2022年より当院勤務。日本整形外科学会整形外科専門医。日本手外科学会手外科専門医。

2004年順天堂大学医学部卒業。災害医療センター、日立総合病院、東京都立墨東病院、名戸ヶ谷病院、東京大学医学部附属病院、米国Kleinert Kutz Hand Care Centerなどでの勤務を経て、2019年より当院勤務。日本整形外科学会整形外科専門医。日本手外科学会手外科専門医。

診断から治療、術後のリハビリまで 専門家と作業療法士が連携して支援

患者一人ひとりに適した 治療を提供

日常生活における手の使い方は人それぞれ異なります。「足腰が悪く、動作のたびに手で支える必要がある」といった生活環境や、主婦と肉体労働者など職業によっても、手に求める役割は千差万別です。患者さんの困りごとが一人ひとり異なるように、その方にとって何が最善の治療法なのか、100%の正解はありません。当院では手外科専門医が、患者さんの

生活状況やご要望を丁寧にヒアリングしながら、一人ひとりにとって適した治療法を、さまざまなオプションの中からご提案させていただきます。

強固な院内連携を強みに チーム力で患者をサポート

当院の手外科診療の大きな特徴の一つが、作業療法士によるリハビリを導入している点です。整形外科のリハビリといえば、理学療法士のイメージが強いかもしれませんが、手に関しては、細かな作

業のリハビリに特化した作業療法士の力が欠かせません。手外科は整形外科の中でも専門性の高い領域で、たとえ手術が成功しても、リハビリが不十分であれば、良い結果が得られないことも多々あります。手外科の治療は医師、作業療法士、患者さんの三位一体で取り組んでこそ、良好な成果が望めるのです。当院では医師とリハビリスタッフが密に連携し、カンファレンスなどで患者さんの情報を共有しながら治療を進めています。

Column

日本手外科学会認定 研修施設でもある当院の強み

大江隆史院長、森崎裕整形外科主任医長、高本康史医長という日本手外科学会の手外科専門医3名体制で診療にあたっています。その3人と作業療法士が連携してチーム医療を実践しています。手疾患における経験の蓄積によって、3人それぞれが専門知識と技術を総動員して治療にあたっています。「この3人ならば、誰に

治療を受けても、納得してもらえる治療を提供できる」と高本医長。森崎主任医長も「専門的なりハビリを含む恵まれた医療体制で、地域医療に貢献したい」と、病診連携の強化に取り組んでいます。

専門医による治療に加え、症例に応じて作業療法士によるリハビリテーションも行っています。チームワークを活かし、患者さんをサポートいたします



左から作業療法士の堀江泰生、森崎主任医長、大江隆史院長、高本医長、作業療法士の飯田恭生

Message

森崎先生
メッセージ

開業医の先生方が「患者さんの治りが思っていたより悪い」「経過が良くない」と感じた時は、気軽にご相談いただければうれしいです。ご紹介いただいた患者さんを一緒に診るパートナーになれたらと考えています。

Message

高本先生
メッセージ

患者さんが安心して治療を続けられるよう、地域の先生方と連携しながら手外科専門医による立場からサポートします。どうぞ遠慮なくご相談ください。



命をつなぐリハビリ 超急性期から地域生活まで 支えるチーム医療



Shuto Tetsuya
首藤 哲也

2013年9月に当院に着任。現在は脳卒中チームリーダーを務め、臨床現場で脳卒中患者のリハビリに専念。患者の機能回復と生活再建に全力を注いでいる。

Fukuda Akira
リハビリテーション科
部長 福田 明

1992年東京大学医学部卒業。榛原総合病院、東京都立墨東病院、総合病院国保旭中央病院、東京大学医学部附属病院、東京大学大学院、東芝病院を経て、2018年4月より現職。切れ目のない医療とリハビリで患者の生活を支えるべく、地域医療連携にも注力する。

Yasukawa Ikuta
安川 生太

2010年に当院に着任。リハビリテーション科の医療技術主任として、循環器と脳卒中チームを統括。専門的な知識と経験を活かし、患者の回復と生活再建を支援している。

超早期からのリハビリが変える予後 安全性を担保しつつ早期に介入を

科学的根拠に基づく 適切なリハビリでQOLを改善

かつて、脳卒中や心筋梗塞などの超急性期には、病棟のベッドで安静を保つことが推奨されていました。「リハビリは急性期を乗り切り、二次的な損傷の危険がなくなってから」というのが基本的な認識だったのです。しかし現在では、長期的な安静状態の維持による筋力や呼吸機能の低下、関節の拘縮や血栓症などが早期復帰の弊

害となることがわかり、早期からのリハビリ介入が入院期間の短縮、社会復帰後のQOL改善につながることを科学的なデータで示されています。

最善のタイミングで 個々に合わせた支援を

ただし、やみくもにリハビリの開始を早めれば良いというわけではありません。多職種が連携して安全性を保ち、確実に全身管理ができる環境のもと、その方の病態

に応じた最善のタイミングで適切なリハビリテーションを行うことが重要です。当院では、脳卒中、循環器、運動器、がんを中心とした内臓疾患の4つのチームを編成し、早期のリハビリ介入に必要な体制を整えてきました。このうち、脳卒中チームと循環器チームでは、「意識状態が悪いからこそ体を起こす」という考えのもとで超急性期からリハビリを行い、早期復帰と予後の改善を実現しています。

循環器チーム

ICU入室当日から介入 生活改善まで多職種で支える

最速で離床と運動を促すため、集中治療室(ICU)に患者さんが入ったその日からのリハビリ開始を基本としています。運動療法を軸に、睡眠やストレスの管理を担う心理士など多職種が必要に応じて介入し、生活改善までを包括的に支援。産業医や職場と面談を行い、働き盛りの世代の「療養と就労の両立支援」にも注力しています。



脳卒中チーム

見えない障害にも寄り添い 生活の再建に伴走する

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が連携し、発症直後からの超早期リハビリを実施。言語聴覚士による嚥下機能評価や発話訓練のほか、記憶や注意、社会的行動などを司る脳への障害の有無を評価する高次脳機能評価と治療にも注力し、目に見えにくい障害を含めた日常生活動作の回復と社会復帰を見据えて包括的支援を行っています。



地域で支える在宅復帰 チームで再発を防止

各診療科の医師、看護師、栄養士、心理士などが初期から患者さんに関わり、全員で患者さんを支える包括的リハビリも当院の特徴です。また、地域連携の面では、当院主催の定期的な勉強会などを通じて回復期リハビリ病院との強固なネットワークを構築し、転院

先の充実を図っています。転院後に別の疾患を発症した場合には、当院で治療後に再びお戻りするなど、柔軟に連携していますのでご安心ください。自宅へ直接お戻りになる患者さんについては、退院後の生活を見据えてスタッフが自宅を訪問して環境調査を行い、地域のケアマネージャーなどと協力しながら安全に在宅生活を送れるようサポートしています。

医療機器を付けたままでも安全にリハビリが行えるよう、病棟内にリハビリスペースを設置



身体能力の改善を図る理学療法士、生活動作の訓練を担う作業療法士(OT)、嚥下訓練などを行う言語聴覚士が在籍

doctor's comment

当科では入院中のすべての患者さんに対して急性期リハビリを行っています。患者さんが住み慣れた地域で自分らしい生活を送れるよう、全力でサポートします。



人間ドックで始める、あなたのセルフメディケーションを応援します！



春の健康増進に向けて

春の心地よい陽気とともに、「健康」について改めて考えてみませんか？この季節は、食事や運動、健康チェックなど、現在の生活習慣を見直す絶好のタイミングです。「普段のお昼は脂っこいものばかり食べているけれど、健康診断で問題なければ大丈夫」と思いませんか？実は、その油断の裏に恐ろしい病気がかくれているかもしれません。人間ドックを受ける

ことで、健康診断では見えなかった病気の予備軍を発見することができます。そこで当院の人間ドックは、胃カメラ・バリウムを含む1日で行う「基本コース」の他に、「脳ドックコース」「膵臓・胆のう・胆管がんコース」「大腸がんコース」「動脈硬化予防コース」「マイクロアレイ検査コース」など、気になる臓器を詳しく調べる5つのコースをご用意しております。さらに、徹底的に全身を調べたい方へ向けた2日間で行う人間ドックのコー

スもご紹介します。さらに、全身MRI検査や、アレルギー検査など、セルフメディケーションに役立つ充実したオプション検査も取り揃えています。2026年度からは、軽度認知障害(MCI)検査やCT検査の新機能(大腰筋検査、石灰化カルシウムスコア、大腸検査)など、新しい検査も追加予定です。開始時期等の詳細は、当院ホームページをご確認ください。毎年4～6月は人間ドックのオプション検査の割引特典を実施しています。対象検

査枠に限りがありますので、気になる検査がありましたらぜひ早めにご予約ください。人間ドックは、「真剣に病気の相談ができた」「食生活を見直せた」「ロコモ(ロコモティブシンドローム)チェックが楽しい」「内視鏡って、意外と怖くない」など、検査の体験を通じて、家族や親しい仲間と健康について話し合

うきっかけにもなります。年に一度の人間ドックの受診が、あなたや誰かの行動を変えるかもしれません。この春は、みんなで健康を考え、話し、素晴らしい年度のスタートをきりましょう。ぜひ、NTT東日本関東病院予防医学センターで人間ドックをご受診ください。スタッフ一同、心よりお待ちしております。



予防医学センター長
井上 博睦

2001年徳島大学医学部卒業。東京大学医学部附属病院などを経て2025年4月より現職。日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医。日本消化器病学会消化器病専門医。

脳ドックコース

こんな方におすすめ！

- 近親者に脳血管疾患患者が複数いる
- 高血圧、高脂血症、糖尿病、喫煙など動脈硬化のリスクがある

日本人の死因の第三位を占めるのが脳血管疾患(脳梗塞、脳出血など)です。このコースでは、数々の脳疾患をスクリーニングすることを目的とし、基本的な血液検査や生理検査に加え、脳MR検査及び頸動脈超音波検査が組み込まれています。これらの検査により、脳血管疾患の既往や発症リスク、脳腫瘍や脳動脈瘤の有無を総合的に判断することが可能です。

Point! 小さな未破裂脳動脈瘤は、自覚症状が無い若年者でも発見されることがよくあります。放置すると増大して破裂する場合があります、突然の激しい頭痛からくも膜下出血を発症します。極めて致死率が高い病気なため、未破裂脳動脈瘤が発見された場合には、医師の指導のもとで定期的な経過観察を怠らないことが重要です。

膵臓・胆のう・胆管がんコース

こんな方におすすめ！

- 近親者に膵臓・胆のう疾患患者が複数いる
- 糖尿病に罹患している

当院の人間ドックの基本コースには、上部内視鏡検査、胸部CT検査、腹部超音波検査、便潜血検査が標準装備され、一般的ながん(胃がん、食道がん、肺がん、肝臓がん、胆のうがん、腎臓がん、大腸がんなど)に対応。さらにこのコースでは、腹部MR検査及び腫瘍マーカー(膵臓・胆管)の検査を行うことで膵臓がんや胆管がんの早期発見がめざせます。

Point! 膵臓は体表面から奥深い場所に位置し、周辺に腸管が存在するため腹部超音波検査では微小な膵臓の病変を発見することが極めて困難です。胆管がんも、胆管の拡張など二次所見が出現しないと早期発見が難しいがんの一つ。さらに膵臓がんと胆管がんは生物学的な悪性度が高く、生命予後が不良な疾患です。

施設紹介



検査フロア
広々としており、動線がはっきりしているため、スムーズかつ快適に受診できます。



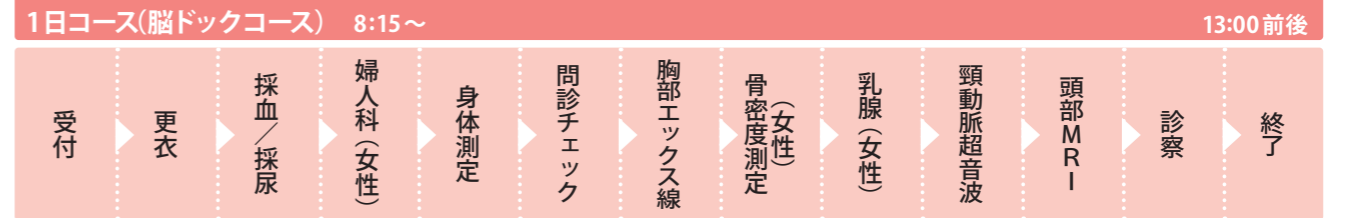
マンモグラフィ
乳腺検査は女性の検査技師が担当するため、よりリラックスして検査を受けられます。



CT
64列のヘリカルCT。新鋭の画像構成技術により、従来よりも最大80%少ない線量で撮影が可能。身体を薄く輪切りにして撮影するため、5ミリ大の肺がんも見つけやすくなります。なお、2026年4月より最新の機器を導入しました。

葛飾北斎「富嶽三十六景」のデジタルアート
20億画素でデジタル化した「リマスターアート」を検査フロアのコーナーに展示。和紙の繊維や質感まで再現された芸術を待ち時間に鑑賞できます。

[コースの基本的な流れ]



基本料金(税込)

1日コース	
男性	女性
85,250円	94,600円

※マイクロアレイコースにつきましては別料金となります

ご注意 いただく点
 [以下の方はMR検査ができません]
 ・心臓ペースメーカー、人工内耳、歯科治療(インプラント・歯列矯正中)
 ・妊娠中・義眼(マグネット式)、刺青など
 [以下の方はMR検査ができない場合があります]
 ・脳や心臓の手術・処置や内視鏡下止血クリップをしたことがある方
 ・検査の際はカラーコンタクトやラメの入った化粧品は取っておく必要があります

お申し込み・お問い合わせ

NTT東日本 関東病院
健康管理棟2階・人間ドック受付

- 電話: 03-3448-6275 (受付時間: 平日10:00~16:30)
- URL: <https://www.nmct.ntt-east.co.jp/>

※検査によって、例えば、非常にまれですが採血によって神経を損傷するといった一定の危険を伴う場合があります。また、当日、医師の判断により検査の一部または全部をお受けいただけない場合があります。

なるほど! Medicine etc. おくすりエトセトラ

お薬に関するいろんな疑問。
「なるほど!」と、知ってうれしい健康まめ知識を
薬剤部がお届けします!

私が答えます!



薬剤部 / 中澤 昂平

Q 「薬が原因で転びやすくなることはありますか?」

A 飲んでいる薬の種類によっては、
転倒のリスクが高くなる場合があります。

例えば、睡眠薬や抗不安薬を飲んでいると日中にも眠気を感じる場合があります、血圧を下げる薬や一部の痛み止めは立ちくらみやふらつきを起こす可能性があります。血糖値を下げる薬や利尿薬も、低血糖症状や夜間頻回にトイレに行くことで転倒につながる場合があります。特に複数の薬を飲んでいる場合、これらの影響が重なるので注意が必要です。また年齢や体の状態によって薬の効き方が変わる場合があります。

ます。以前は問題なかった薬でも、体調の変化によって強く効きすぎてしまうこともあります。しかし、「最近ふらつく」「足元が不安定」と感じて、自己判断で中断せずに、まずはかかりつけの医師や薬剤師に相談しましょう。薬の種類や量を調整したり、飲む時間を変えたりすることで症状が軽減すれば、治療を続けながら、転倒を予防することが期待できます。

地域の お知らせ便

一般社団法人 品川区薬剤師会からのお知らせ

ご存知ですか? あなたの街の「認定認知症支援薬剤師」

「あれ?」と感じたとき、誰に相談すればよいか知っていますか。道に迷っている人を見かけた、同じ話を何度もするようになった、家族の様子が以前と少し違う気がする。そんな小さな気づきは、誰の身近にも起こり得ます。実は、薬剤師も認知症支援に関わる専門職です。品川区には「認定認知症支援薬剤師」がおり、認知症と診断された方だけでなく、「もしかして…」と不安を感じている方や、親や祖父母の変化に戸惑うご家族、ご近所で気になる様子を見かけた方など、世代を問わず相談できます。薬局は誰でも気軽に立ち寄れる身近な相談の場です。薬剤師は、ひとり暮らし高齢者の方などに対する身近な相談窓口「支え愛ほっとステーション」や区、専門医と連携し、適切な支援や医療につなぐ役割を担っています。ある日、見ず知らず



の方が薬局を訪れ、話がかみ合わず困っていました。地域のネットワークを通じて支援員やご自宅とつながり、その方は無事に帰宅し、治療と支援につながりました。認知症は特別な人だけの問題ではありません。「少し気になる」「念のため聞いてみたい」、その段階で大丈夫です。認定認知症支援薬剤師は、地域で暮らす皆さんの身近な相談役です。

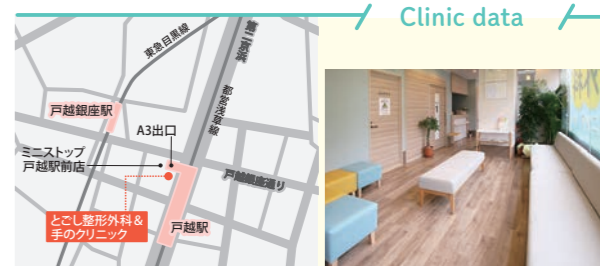
詳しくは: 品川区ホームページ
「認定認知症支援薬剤師制度」をご覧ください。
<https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/PC/kenkou/kenkou-koureisya/ninchisyo/20231227095358.html>

がっちり 連携 連携医療機関のご紹介

NTT東日本 関東病院では、地域の開業医の先生方と緊密に結びつき、大切な患者さんの紹介や逆紹介などの連携を行っています。スムーズな情報共有によって当院とともに地域の医療を支える「医療連携協力医療機関」の皆さんをご紹介します。

医療法人社団はなうた とごし整形外科&手のクリニック 整形外科・手外科・リウマチ科・リハビリテーション科 ☎ 03-6426-8552

昭和大学病院に20年以上勤務した多くの経験から、質の高い医療を地域に提供する窓口になりたいという思いが強くなり、戸越銀座商店街に2019年春に開院しました。一般的な整形疾患の対応はもちろん、手外科疾患に対する診療がライフワークです。整形外科は老若男女問わず疾患が非常に多彩です。患者さんにより良い医療を提供するためにNTT東日本関東病院との連携をしながら引き続き努力してまいります。



【住所】〒142-0051 東京都品川区平塚1丁目7-7MYビル1階
【電話】03-6426-8552
【診療科】整形外科・手外科・リウマチ科・リハビリテーション科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00 ~ 12:30	○	○	○	○	○	△	—
15:00 ~ 18:30	○	◎	○	—	○	—	—

※◎…外来手術 ※木曜午後は昭和医科大学病院にて手外科専門外来 ※祝日は休診

Doctor profile / 池田 純 (いけだ じゅん)

1997年 昭和大学医学部医学科卒業
2001年 同大学院修了(医学博士取得)
2006年 同大学整形外科学講座 助教
2007年 米国Mayo Clinic (Rochester, MN)留学
2010年 同大学整形外科学講座 講師
2019年 とごし整形外科&手のクリニック開設 昭和医科大学整形外科 兼任講師

豪徳寺整形外科クリニック 整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科・精神科 ☎ 03-5451-7878

当院は小田急線豪徳寺駅・世田谷線宮の坂駅近くで、世田谷区を中心に外傷から慢性疾患、スポーツ外傷まで幅広く診療しています。病状により精査・手術治療が必要な際は、NTT東日本関東病院の先生方にご紹介させていただいております。いつも迅速かつ的確な医療でご対応くださり先生方に感謝しております。今後も密に連携させていただき地域の安心と健康を支えてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



【住所】〒154-0021 東京都世田谷区豪徳寺2-31-8
【電話】03-5451-7878
【診療科】整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科・精神科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00 ~ 12:00	○	○	○	○	○	○	—
14:30 ~ 18:00	○	○	○	○	○	—	—

※祝日は休診

Doctor profile / 大野 孝義 (おの たかよし)

2012年 信州大学医学部 卒業
2014年 東京大学医学部整形外科入局
2014年 武蔵野赤十字病院整形外科
2016年 東京都立多摩総合医療センター整形外科
2020年 東京通信病院整形外科
2022年 豪徳寺整形外科クリニック開院



健康な未来のために

自分と家族に

今できることを

NTT東日本 関東病院 人間ドックのご案内

当院の人間ドックでは疾病の予防・早期発見・早期治療による人々の健康の維持・増進に努めることを理念とし、皆様のニーズに合った複数の人間ドックコースをご用意しております。お気軽にお問合せください。

1日コース

- ▶ 基本コース
男性¥85,250 女性¥94,600
- ▶ 脳ドックコース
男性¥85,250 女性¥94,600
- ▶ 大腸がんコース
男性¥85,250 女性¥94,600
- ▶ 動脈硬化予防コース
男性¥85,250 女性¥94,600
- ▶ 膵臓・胆のう・胆管がんコース
男性¥85,250 女性¥94,600
- ▶ マイクロアレイ検査コース
男性¥105,600 女性¥114,950

(税込価格)

過去にNTT東日本 関東病院で個人申込で人間ドックを受診された方は通常料金から1割引のリピーター価格で受診いただけます。さまざまなオプション検査のご用意がございます。ホームページよりご確認ください。

NTT東日本 関東病院 健康管理棟2F・人間ドック受付
【TEL】03(3448)6275【受付時間】平日10:00～16:30
【URL】<https://www.nmct.ntt-east.co.jp/examination/>

2日コース

- ▶ 全大腸内視鏡コース
男性¥138,050 女性¥163,900
- ▶ 膵臓・胆のう・胆管がん
MRCP検査コース
男性¥138,050 女性¥163,900

(税込価格)



※料金・検査項目・オプションなど
ホームページで詳しくご案内しております！



Vol.113 : 春号

ホームページは
こちら



NTT東日本 関東病院 広報誌 2026年3月19日発行 通巻113号

発行/NTT東日本 関東病院

〒141-8625 東京都品川区東五反田5-9-22

TEL: 03-3448-6111(代表)

URL: <https://www.nmct.ntt-east.co.jp/>



K25-04422 [2603-2703]